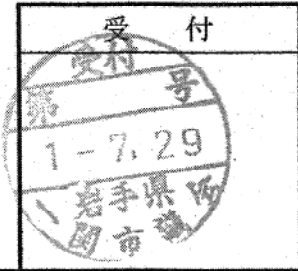


# 調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 梶山 隆 様



報告年月日	令和元年 7月8日
実施日(期間)	令和元年 7月7日
実施場所 (行先等)	青森市
事業区分 (いずれかに○)	<input checked="" type="radio"/> 研 修    調査研究    要望・陳情活動    会 議
事業内容	資源循環関係の講演会
報告者	(会派名) 希望 (代表者金野盛志)
参加者	議員 金野盛志 (印)    議員 (印)    議員 (印) 議員 (印)    議員 (印)
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)
主要 資料名	別紙

## 別紙（１）

### １． 目的

①従来のゴミ処理は、焼却であるが、今回、亜臨界水技術の技術についての講演会（講師京都大学名誉教授の松井氏）に参加し、当市の喫緊課題であるゴミ処理について研鑽。

## 別紙（２）

### 概要

- ①生ゴミ等のバイオマス資源を焼却せず、高温・高圧水蒸気により、（高速加水分解）で、堆肥などに変えることが可能。
- ②北海道では、この技術で白樺などの木材から牛のエサを生産
- ③海外でも、このシステムが導入されている。

## 別紙（３）

### ２． 参考とすべき事項・所感

- ①当市は、バイオマス産業都市であり、ゴミ処理について、様々な処理技術を検討するなかで、この方法も有力であること。
- ②特にも、焼却以外が利点
- ③人口減少のなかで、新たな産業としての期待

講師 松井三郎 京都大学名誉教授



## 講演概要

- 1 循環新技術
  - ① 亜臨界水リアクター
  - ② 超高温好気性発酵技術、③乳酸発酵技術、④オゾン水生成器
- 2 1次産業の間の循環 - 「地域循環共生圏」

## 青森の1次産業の強み

### 有機性廃棄物の循環活用—「地域循環共生圏」

### 亜臨界水技術による廃棄物を有価物に変える

### 有機農業の基本—土作り

### 超高温・好気性発酵堆肥

### 乳酸菌発酵

### オゾン水の活用



## 1. 目的

### 【美作市】

- ① 生産年齢人口の急激な減少を踏まえ、労働者の確保が課題
- ② 市長が、通産省の官僚、岡山市長、衆議院議員を経て、就任。以前からベトナムにネットワークがあった。
- ③ ベトナム人を市の職員への雇用、特に、ベトナムから建国の父であるホーチミンの銅像を寄贈（国内でここだけ）
- ④ これらを背景にベトナムから飛躍的に労働者の確保
- ⑤ 課題としては、現在の法制度、長期の就労、定住する施策が欠けている。

### 【津山市】

- ① 市民の所得が県内でも低位である地域
- ② このため、産業の集積、高付加価値化、総業、新事業、人材育成を目的に産業支援センターを設置
- ③ センターの組織は、副市長がトップ、特徴は民間から統括マネジャーを公募市長の報酬より高額の待遇、しかし、成果を求める。

### 【三豊市】 バイオマス資源化センターみとよ

- ① 以前は、広域組合に加入し、焼却型の処理
- ② 現市長が広域を脱退し、最初はバイオガスを指向
- ③ バイオガスがうまく、事業化できない時に、民間企業が民設民営で燃料製造方法を提案

## 2. 参考とすべき事項・所感

### 【美作市】

- ① 外国人労働者は、配属まで半年程度の時間必要
- ② 入管への書類が多すぎる。
- ③ 旅費の負担など安価な労働力ではない。
- ④ 24時間フォローする体制必要。言葉、住宅、生活習慣、移動など
- ⑤ 住宅は雇用促進住宅を市で購入  
受け入れには、行政の相当な支援が必要。

### 【津山市】

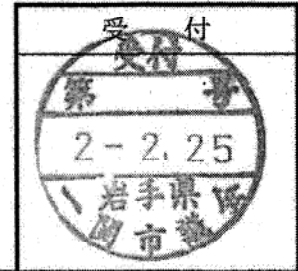
- ① 学生などの就職支援を一元化
- ② 企業などを市民に公開する事業を行い、好評とのこと。当市でも参考になる。  
企業の魅力などを公開で市民に知ってもらい、若者の就業につながるのでは？
- ③ 地場企業であるステンレス製造に特化した取組

### 【三豊市】

- ① 民設民営方式であること。
- ② 行政は、ゴミの収集運搬を委託（従来に同じ）
- ③ センターは、市から処理代としてトン当たり2万円台で契約
- ④ これを微生物で処理  
当市でもゴミ処理の候補地が最終局面。  
しかし、処理方法は未定  
他方、焼却によらない、この方法は環境面やバイオマス産業都市などの政策面との整合が図れる。  
この企業は、この技術を広く販売することは可能とのこと。  
会派として、当局に提言する予定

# 調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 梶山 隆 様



報告年月日	令和2年2月25日
実施日(期間)	令和2年1月29日～30日
実施場所 (行先等)	①成田市 ゴミ処理の事務委託 ②林野庁 森林環境譲与税 ③船橋市 窓口対応(サービス向上)
事業区分 (いずれかに○)	研 修 <u>調査研究</u> 要望・陳情活動 会 議
事業内容	上良下月
報告者	(会派名) 希望 (代表者金野盛志)
参加者	議 員 金野盛志 議 員 千葉幸男 議 員 岩淵善朗 議 員 千葉信吉
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)
主 要 資 料 名	別紙

## 別紙（１）成田市

- ・近接する富里市のゴミを広域行政組合ではなく、事務委託方式で処理
- ・千葉県では、行政組合を認可しない方針
- ・この方式で円滑に運営している。
- ・課題はゴミの減量

## 林野庁

- ・課題を洗い出して、円滑な事業の仕組みを構築したい。
- ・人口で交付金が決まる方式は疑問、
- ・山林面積にウエートを提案
- ・用途は自治体に任せる。
- ・相続などは、既存の情報の活用を提案

## 船橋市

- ・窓口サービスの向上
- ・各種の申請書類に市民が記載せず、窓口の職員がマンツーマンで対応
- ・事務処理に係る時間が短縮

## 1. 参考とすべき事項・所感

### ①成田市

- ・当市は広域行政組合を組織し、ゴミ処理に対応しているが、行財政改革に資することを目的に、委託方式とすることを次回の議会で提案
- ・もとより、構成する平泉町の理解が前提
- ・介護保険については、各自治体で保険料を徴収しなければならない。
- ・介護保険計画は、調整する場を設けて対応

### ②森林環境譲与税

- ・制度が出発したが、課題は認識しているように感じた。
- ・特に、用途については、口出ししないように感じた。
- ・課題を抽出し、次回議会で質問予定
- ・貴重な財源であり、真に山林に使われるようにしなければならない。

### ③船橋市

- ・背景として、各種の申請に対応する課の超過勤務が多く、この削減のために研究した。

- ・年度末は別にして、大幅に超過勤務の削減と市民サービスの向上になった。